

名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT No. 1228

<本年度会長方針>

リノベーション renovation

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 木村 光徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
 幹事 渡辺 観永 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
 URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

第1440回例会

職業奉仕月間
・米山月間

平成25年
10月31日(木)

於 名古屋東急ホテル

会員 64名

出席計算数 58名中47名出席

出席率 81・03%

前々回出席率 87・93%

例会プログラム

★春日井職業奉仕委員長

・チャリティラン2013案内

・航空自衛隊小牧基地見学案内

★堀江30周年実行委員長

★卓話

「ロータリーング」

「奉仕の理想」

指揮者 鬼頭 茂成

ゲスト

地区R財団資金推進委員会

委員長 中林 正人さん
(名古屋港RC)

「ニコボックス」

地区R財団資金推進委員長 中林 正人様
本日はよろしくお願ひします。

高木 政義・渡辺 観永

R財団委員会 吉田 憲一

吉田 明夫・吉田 隆彦

小野さんお世話になります。

尾上 昇

尾上さん前田さん森の音楽会有難うございました。 春日井和良

会長挨拶

会長 木村 光徳



今日は日本人のロングステイ先として人気NO.1の国マレーシアについて話をさせて頂きます。 何故日本人にとって暮らし易いかという点、

1. 治安が比較的良い。
2. 物価が日本の30%~50%程度。
3. インフラが整備されている。
4. ゴルフ、テニス、マリンスポーツ等が手軽に楽しめる。
5. 日本人が多く友人を作り易い。

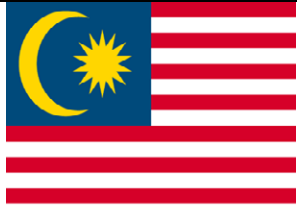
以上の事が理由だと思えます。 只、年金だけで余裕を持って生活する事は中々難しく、裕福な人々の多い日本人のコミュニケーションには参加出来ないという事も聞きます。

歴史的には、海上交通の要所で有り、天然ゴム、錫、石油、天然

ガス等を産出する為、その時代の強国であったポルトガル・オランダ・イギリスの植民地として統治され、太平洋戦争の緒戦時には、日本もその資源を求め、マレーの虎として有名な山下陸軍大将が進軍し、イギリスの司令官に降伏を求め、イエスカノーかと迫った話は有名です。

国民はマレー系・中国系・インド系の人々からなる多民族国家故に、戦後民族衝突により、シンガポールが分離独立しました。 シンガポールは、リー・クワンユー及びその後継者の強烈的な指導力により先進国入りを果たしましたが、マレーシアも1981年にマハティールが首相に就任し、ルツクイースト政策・東南アジア初の国産車「プロト」の生産、外国企業の工場誘致を強力に押し進め、中進国と認められるまでに成長しました。

しかしマレー人優遇政策や経済の実権は少数民族の中国系の人握られている事、そして、シンガポールに比較すると政府役人の汚職や情



実人事も多く、人件費の上昇を越えて、成長する思い切った政策も打ち出せないままに、世界の多くの中進国が突き当たる中進国の停滞状態に陥っているのが、現状のようです。

「ロータリー財団卓話」

「ロータリー財団」

未来の夢計画について

地区R財団資金推進委員会

委員長 中林 正人さん
(名古屋港RC)

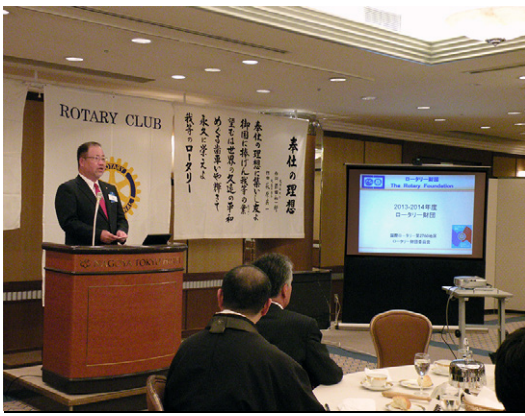


ロータリー財団は、各ロータリー・クラブや地区が人道的支援や教育的支援活動に補助金を提供する「非営利法人」であります。ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済すること、これが2007年の規定審議会で決定された「未来の夢計画」の骨子であります。

未来の夢計画というのは、効果的に寄付金を使う為に財団プログラムを見直すと言った事であり、単

なる資金援助では無く、地域のニーズをしっかりと把握し、持続的継続的に効果のあるプロジェクトであることが求められています。

未来の夢委員会は、2005年4月に設置され、2008年6月にはRI理事会で未来の夢計画が承認され、2010-2011年度から世界の100のパイロット地区で試行されましたが、3年間の試行期間を経て、来年度はこの計画が全世界532地区で実施されることになりました。未来の夢計画を検討されることになったその原因を、サブプライムローンとリーマン・ショックが発端ではないかという風に言われることを耳にしますが、サブプライムローン問題は2007年で、リーマン・ショック問題はその1年後の2008年であります。その問題発生



の2年前から計画が検討された経緯を考えますと、かような噂は外れていると言えるでしょう。

2012-2013年度の財団目標は、「健康状態の改善、教育への支援、貧困救済、紛争・平和解決」という事で、健康状態の改善は「ポリオの撲滅」が中心でポリオプラスは財団の中でも非常に大きな位置を占めています。現在、インド、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの4か国でまだなおポリオの発症国と言われて居ますが、インドにおいては、ここ数年ポリオが発生しておりません。残りの3か国においてはもう一息という事で、撲滅に向けてさらなる活動が推進されていることとなります。

他に、「水と衛生」「疾病予防と治療」「母子の健康」「基本的教育と識字率の向上」「経済と地域社会の発展」「平和と紛争予防・紛争解決」の6つは重点分野と言われており、世界的な奉仕活動としてはこの6つの重点分野を特にしっかりとやって行くという事が「未来の夢計画」です。

そして、未来の夢計画を推進する為の効果的な優先事項として、従来の補助金システムから変更されていることは「承知のこと」存じます。貴クラブでは新地区補助金を利用して頂きプロジェクトが実施されております。もう一方の

補助金に「グローバル補助金」があります。グローバル補助金は、DDFとWFの組み合わせで補助金を受ける事が出来、大きな予算を必要とするプロジェクトであっても全額補助金を利用することが出来る所が魅力です。是非、グローバル補助金の活用もご検討下さい。

最後に、ロータリーカードにご加入を頂きたいと存じます。ロータリーカードに加入する事により、利用金額に応じて財団への寄付や、東日本大震災の復興に寄与する事が出来ます。多くのロータリアンの皆さまのご加入をよろしくお願い致します。

派遣青少年交換生 報告

「フランスレポート」

青少年交換生 渡辺 瑞加

「こちらに来て2か月がたち、緯度の高いフランスは早くも10度以下の日々です。寒いのは苦手なので毎日丸まって過ごしています。学校は8時から始まるのですが、家を出て学校についても外が暗いのは、なんだか慣れません。しかしこの時期はワインづくりにとって重要な季節です。ホストファザーの知り合いのブドウ農家にぶどう狩りと保存の工程を見学させていただきました。ぶどう狩りの方法は昔ながらの



手作業で黙々と切っていく(右)の機械で揺らして落とす方法(中)があり、どちらも体験しましたが手作業の翌日は体が痛いですが、途中でちよつとまみ食いでできる良さもありました。



そのあとは機械に入れて果汁だけを絞る出し、絞りの出した果汁は穀物の粉と混ぜて大きなタンクで保存します(左)。1か月ほど保存すると味がかわってアルコ



ールになります。この間、毎日温度と味をチェックします。その後は蒸留して一定の温度で3か月保存すると「ニャック」になります。この蒸留からはHennessyやRemy martinが管理します。

来年の2月ごろには新しい「ニ



ヤックが誕生します。みなさんいかがですか？ホストマザーは料理がとっても上手で、彼女が料理するときは手伝って教えてもらっています。昨日はキッシュとデザートにタルトを作りました！庭で取れたリン



ゴを使っています。庭は広くて、天気の良い日はみんなでバドミントンをしています。昨日から2週間の秋休み、バカンスです！出かける予定がいくつかあるので、楽しんでいきます！

11月14日(木)例会の案内

新世代奉仕卓話

「新世代について」

新世代奉仕委員長

宇野 史也さん

広報委員会

- 小澤 幸男・青木 靖高
 - 飯田 昭夫・杉浦 令淑
- *本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。